

TOMIMATSU

HIBARI

HALFYEARLY PUBLIC INFORMATION

医療法人 富松記念会 広報誌

半年刊(年2回刊行)

平成29年1月1日発行

前期号



a picture of Meigetsuin in Kamakura



新年のご挨拶

理事長・院長 富松 愈

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに2017年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、隣接する熊本県・大分県が大地震に見舞われ多くの方が亡くなられました。その後も、余震による二次災害も多く、仮設住宅での生活を余儀なくされる方々もおられます。日本の名城熊本城は復興の兆しは全く見えず、私が生きているうちには再びその姿を見ることはできないかもしれません。被災された皆様には謹んでお見舞い申しあげますと共に亡くなられた方々には心から哀悼の意を表します。

将来、とどまることのない少子高齢化・人口減少社会と社会保障の問題。「社会保障と税の一体改革」が実行されない今、日本経済の成長率の先行きは不透明なままであります。消費税率10%への引き上げが2019年10月へとさらに延長されたことに加え、社会保障費の自然増については一昨年の経済財政諮問会議で、高齢化に伴う伸びを抑えるとの理由で5,000億円までとの制限がかかっているため、社会保障費の財源不足により地域で必要な医療・介護サービスが受けられなくなるなどの問題が生じる懸念があり、社会保障費財源の確保は絶対に必要です。くわえて英国のEU離脱問題(BREXIT)、また米国大統領ドナルド・トランプ氏の経済政策が不透明なため世界経済の混乱が予想され、国民の不安が高まる今こそ、社会保障、国民皆保険の維持・継続が必要だと思います。しかし、この社会保障部分の政策内容が極めて曖昧であり、国は財政危機への対応ばかり強調するため、なんのための増税なのかが国民にはわかりにくくなっています。この改革は、つまるところ負担と分配の問題です。誰がどのような負担をどのような形で負えば社会的な平等が実現されるのかをわかりやすく示すことで、社会の持続可能性を明確化しなければなりません。

一方、医療と介護の一体改革に係る今後のスケジュールとしては、平成30年度に第7次医療計画(医療機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの構築を一体的に推進)、第7期介護保険事業計画、第5期障害福祉計画などが開始され、また診療報酬と介護報酬の同時改定が予定されています。さらに平成29年度計画として医療介護総合確保法に関連する地域医療介護総合確保基金の問題、病床機能報告制度、医療保険制度改革、医療従事者の需給に関する検討、新たなる専門医の仕組み、医療安全への取り組み、これから的精神保健医療福祉のあり方に関する検討など、問題は山積みです。

また、今後の国政の方向性に関連する各種の方針等として、経済財政運営と改革の基本方針2016(600兆円経済への道筋)、日本再興戦略2016(第4次産業革命に向けて)、一億総活躍プラン(保育士と介護職員の待遇改善が本年4月から実施される予定ですが、その財源は不明確)、規制改革実施計画、保健医療2035提言、医療介護情報活用による改革推進などが提案されていますが、ポスト成長時代の社会保障、社会構想のビジョンについての論議が必要かつ重要なものとなっています。子育て・教育・社会保障(医療・介護)問題は国民にとって大きな関心ごとであり、重点的に取り組んでほしい政策です。医療・介護・福祉を取り巻く厳しい環境の中、われわれはそれらの事業に携わる者として地域の現状の実態をふまえ、しっかりと医療介護福祉政策を主張していかなければならぬと思います。

新年が皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますことを祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

法人理念

優

優しさをモットーとし、
質の高い医療・介護・福祉サービスを
提供します。

明

皆様方に対し明るく親切に
対応し、あなたの気持ちを
尊重します。

美

緑豊かな三池の地のもとに、
環境に配慮した心の安らぎが
図れるように努めます。

新年のご挨拶

副理事長 富松 健太郎

新年明けましておめでとうございます。本年が皆様にとりまして、良い年になることをご祈念申し上げます。

昨年は、熊本・大分地震、鳥取地震等の大きな災害もございました。本年は安寧な年になるよう願っております。熊本地震におきましては、当院でも後方支援として熊本県宇城市より9名の患者さんを受け入れました。各先生方、スタッフ一同皆様の温かいご協力に対し、この誌面を借り改めて感謝を申し上げたいと存じます。



さて、世の中を見回しますと、日本ではいつも『少子高齢化！少子高齢化！』、『日本も人口減少社会に入り云々…』などと、また世界でも（限られた情報かもしれません…）、中東（イエメン、アフガニスタン等々）やアフリカ（南スーダン等々）での戦争、北朝鮮での大水害など、ネガティブなニュースばかりが耳に入ります。しかし、私自身小学生の子供二人を抱える身としまして、将来への過剰な不安や希望の無いような世の中の空気は打破していく必要があると考えます。ややもすれば、『昔は良かった』という議論や『今の若い人は云々…』という言葉もよく聴こえてくる気が致しますが、精神論ではなく、冷静に今からることを議論し、構築していく必要があると考えます。精神科医を生業とする身としてよく考えますが、『物に溢れ、より複雑な社会になった』と現代社会を嘆いている人であっても、昔のように限られた電化製品しか使わないような『昔の生活に戻りたい』という人は僅かではないかということです。小学生でもスマホを持つような（時代感覚の少しづれた私は未だ有しておりません…）、より複雑で面倒な社会になることで、より皆様が疲れるような気がします。それでもスマホを使わない方向には社会は進まず、むしろスマホ社会は加速していくものと思われます。色々と選択肢があるからこそ、『皆様が疲れている』ように患者さんを通して思うこともしばしばです。

色々と嬉しい出来事の多い昨年でしたが、当院のスタッフを中心とした私の編著で8月22日に【多職種で支える高齢者うつ病】という本を出版出来ましたことは、望外の喜びでした。学も人力もない浅学菲才の身ですが、ただ患者さんを診る中で出版の依頼がきまして、スタッフ皆様のご協力のもとで完成できたことは、当法人としましても誇れるものであると自画自賛しております。つまり申し上げたいことは、自分のような凡庸な人間でも、『継続することで、何か活路が見えてくる』ということでございます。そして、『自分自身や身近な家族や友人がそれなりに幸せでないと、患者さんによいものをご提供できないのではないか？』と思います。『天は自ら助けるものを助く』と云います。皆様、本年は自分自身を大事になされでは？とお伝え致しまして本稿を終わります。

最後に、当法人のホームページがリニューアルされまして、スマホ対応になっております。是非、一度ご覧下さいませ。



病院相談役・医局長 今里 勝次郎

今年も良い御正月をお迎えの事と慶び申し上げます。今年のエピソードは、NHKの大河ドラマ、一昨年は黒田官兵衛、昨年は真田幸村でした。いずれも終りの頃、美貌で名高い千姫が登場します。その姫の一寸した話です。演歌では「矢切りの渡し」は御存知の方も多いが、歴史では、「七里の渡し」が有名だそうです。それを私に教えてくれたのが三池病院の女性職員のレジェンドで、今で言う歴女の走りである野田みきさんです。大坂城が落城した後、千姫は生き残り、江戸に帰る時、大阪と名古屋の間にある桑名藩の大河越し「七里の渡し」のお世話をしたのが徳川家康の曾孫の本多忠刻で、その忠刻がこれ又、イケメンだったそうです。後に、千姫の再婚話の相手がその忠刻だったので、千姫も一発でOK。祖父の徳川家康も喜び姫路城とその播磨の国を与える、持参金、化粧料と言うそうですが、10万石を持って嫁に来たそうです。いずれの時も、イケメンや別嬪さんは、得するものですね。

院長代行 中野 哲男

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましても、お元気で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

わたしも今年の4月3日の誕生日で78歳になりますが、日ごろは年齢を意識することはありませんが、正月や誕生日を迎えると歳を意識させられます。

昨年を振り返りますと9月21日敬老の日を迎え自宅の町内会から喜寿のお祝いを頂きました。

昨年10月25日第65回大牟田美術展が大牟田文化会館で開催され、サンフラワーの大瀬戸邦雄さんが洋画で大牟田商工会議所会頭賞を入賞され、自分のことのようにうれしかったのを憶えています。

今年はわたしにとりまして節目の年にあたります。4月精神保健指定医・精神神経学会認定精神科専門医の更新を迎えます。

今後とも新たな気持ちで元気に働きたいと思っていますので、ご助言ご指導の程よろしくお願ひいたします。今年も皆様にとってよい年でありますようお祈り申し上げます。

精神科副院長 鹿子島 裕士

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年はイギリスのEU離脱やアメリカ優先主義を掲げるトランプ候補の勝利など、世界のグローバル化が反転するような出来事が相次ぎました。今月成立するトランプ政権が実際にどういう政策を実行に移すのか、我々日本人の暮らしにも大きな影響がありそうです。

身近なところでは人口の多い団塊の世代が70代に差し掛かり、高齢化問題が現実のものとなりつつあります。高齢者の交通事故の多発など、加齢による認知機能低下が背景にある出来事も増えています。三池病院でも認知症で受診される患者様がかなり増えています。認知症そのものの改善はまだ難しいですが、幻覚や妄想、興奮、徘徊、不眠といった周辺症状はお薬で改善できる事が多く、我々精神科医の得意とするところです。こういった症状でお困りの方は早めに精神科を受診されることをお薦めします。

本年が皆様にとって良い年になりますよう祈念して新年のご挨拶に代えさせて頂きます。

介護老人保健施設「さんぽ」施設長 草場 卓

新年明けましておめでとうございます。

先ずは、昨年4月14日以降の一連の熊本地震により、甚大な被害を及ぼし、多くの尊い命が失われました。改めまして、犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての方に心からのお見舞いを申し上げます。

昨年は無事に富松記念会介護老人保健施設さんぽ開設20周年を終え、そして、新たなる一歩となる、新年を迎えることが出来ました。心より厚く御礼申し上げます。

今年一年、健康で日々穏やかに過ごされるよう願って止みません。新しい年が更に良い年になるよう祈念致しまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。本年も宜しくお願ひ致します。

精神科医 野母 晋平

新年明けましておめでとうございます。

年月の経つのは本当に早いものですね。私の年代になりますとつくづく感じられます。早いもので私が当病院にお世話になり2年半になります。

最近では患者さんとも親しくなり、話しかけられたり、手を握って挨拶されるようになりました。人は誰かと話すことで生きていることを実感できるのですね。こちらから具体的に話しかけ、よく聴いてあげることの大切さを教えられました。

今年は縁起を担ぐことの大好きな日本人にとって「とり→とりこむ」と言われる酉年です。よい運気をとりこむことができる縁起のよい年だと言われています。患者さん、職員のご家族の皆さんのがよい運気に包まれる良い年であるよう願っています。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

精神科医 橋爪 祐二

新年あけましておめでとうございます。

2016年は、イギリスのEU離脱、米国大統領選挙でのドナルド・トランプの勝利という、今までのグローバリズムに反する出来事があった象徴的な年でした。トランプ大統領の誕生によって、TPPは反故になるでしょう。移民を国是と謳っている米国が、移民排斥や保護貿易主義へと転換していくかどうか、今年の2月以降にならないと分かりません。一方我が国日本に目を向ければ、超高齢化・少子化時代が益々加速されています。当然働き手である20~65歳までの人口は減少の一途です。このままでいけば、労働力の不足は避けることが不可能な時代に突入していきます。数10年後の将来を見すえて、いかにすれば労働力が確保できるかを考えなければいけません。

また、昨年の夏の異常な暑さが長く続いたことから、地球温暖化対策も必要です。石炭に今なお依存している中国が断突のトップ（ちなみに日本は5位）ですが、新米国大統領はパリ協定は反故にすると公約していますので、このままでいけば、1年の半分は夏になってしまうではないかと危惧されます。我々の子孫によりよい社会に継承するために一人一人が考えなければいけないことだと思います。

FEATURE

医師紹介

氏名

松山歌夜子

免許・資格

精神保健指定医

日本精神神経学会認定精神科専門医

日本精神神経学会認定精神科指導医

趣味

幼稚園の年長組から高校3年生まで続けていたピアノを月2回習っています。ドビュッシーが滑らかに弾けるようになることを目標にしていますが…。

加齢による筋力低下防止のため、毎週ジムに通っています。

最近、母の形見の着物を自分で着れたらと思い、一念発起し、着付け教室へ行き始めました。

短い間でも、旅行するのが好きです。京都がマイブームです。

ご挨拶

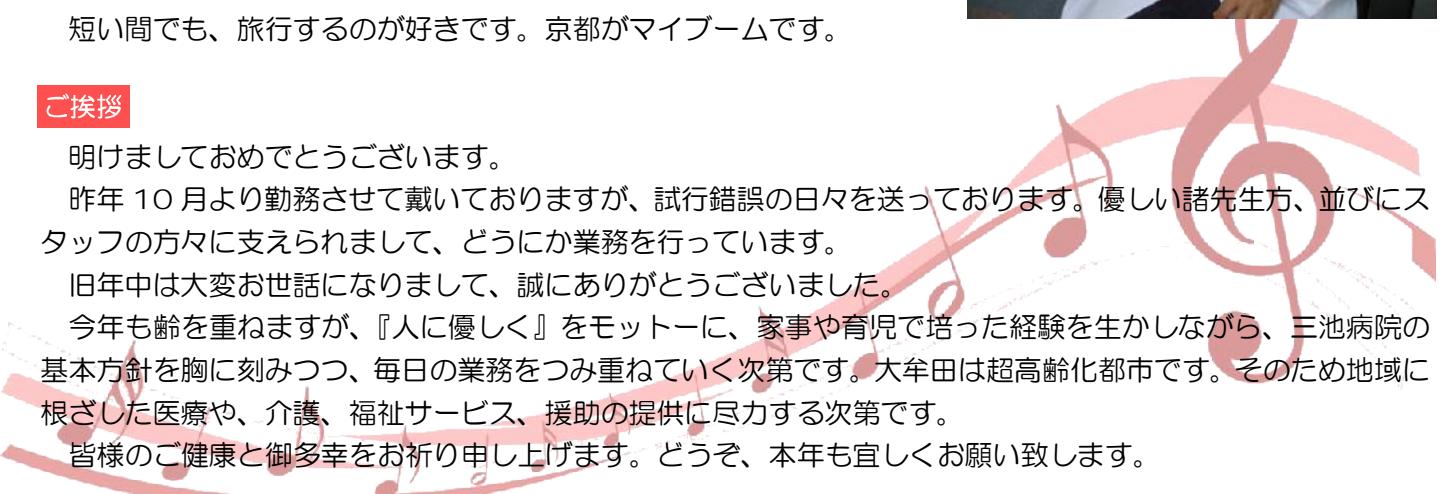
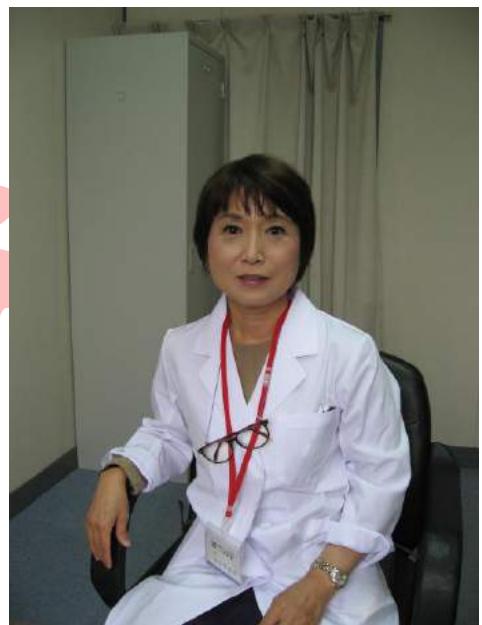
明けましておめでとうございます。

昨年10月より勤務させて戴いておりますが、試行錯誤の日々を送っております。優しい諸先生方、並びにスタッフの方々に支えられまして、どうにか業務を行っています。

旧年中は大変お世話になりました、誠にありがとうございました。

今年も歳を重ねますが、『人に優しく』をモットーに、家事や育児で培った経験を生かしながら、三池病院の基本方針を胸に刻みつつ、毎日の業務をつみ重ねていく次第です。大牟田は超高齢化都市です。そのため地域に根ざした医療や、介護、福祉サービス、援助の提供に尽力する次第です。

皆様のご健康と御多幸をお祈り申し上げます。どうぞ、本年も宜しくお願ひ致します。



FEATURE 2

小文化祭のご報告

昨年10月に病院の一角を利用して秋のイベント「小文化祭＆オープン喫茶」を開催しました。気に掛けている天候も晴天となり、イベントに参加された多くの患者様が喫茶で用意した本格的なコーヒーやお茶菓子に舌鼓を打たれ沢山の笑顔が会場を包み込んでいました。

各露店（ゲーム、綿菓子、クラフト）においても、スタッフとの交流や童心に返って射的を楽しまれる姿が印象的でした。また、ボランティアによる生演奏（サックス、フルート、クラリネット）もあり、場を大いに盛り上げて頂きました。

そしてなによりもご家族の方の来院も多くあり、入院療養中の患者様にとっても良い機会になったと思います。



FEATURE 3

病棟敬老会のご報告

9月は敬者の日ということで各病棟、敬老会のイベントを実施しました。カラオケやゲーム、合唱にイベント食の提供など様々な企画が開催されました。カラオケ大会では、事前の練習を重ね、本番に臨まれた患者様も多く、観ているスタッフも楽しさと緊張に包まれました（笑）。祝い歳の多い1F病棟では、Dr. 大久保によるバイオリン演奏があり、感動し涙を流される場面もありました。患者様が高齢化しつつある当病院ですが、未永く元気で過ごしていただける様、今後も企画や催しを提供していきたいと思います。



さんぽ感謝祭

おかげさまで

さんぽ開設20周年記念感謝祭



昨年は5月に予定していた“さんぽ祭り”を自粛し、10月8日（土）に、さんぽ開設20周年記念感謝祭を開催いたしました。当日は雨天のため、施設内での催しとなりましたが、多数の地域の方々やご利用者、ご家族にご来設いただき、終始活気あふれる雰囲気で楽しみ、これまでの感謝の気持ちをお伝えし、交流ができました。



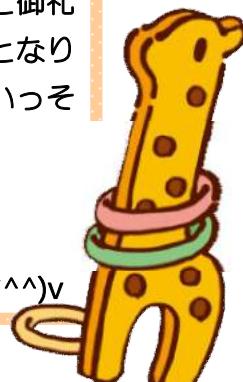
『和太鼓衆 韻』ご一様、『パイナップルプリンセス三池』ご一様においでいただき、迫力ある和太鼓と女性らしい柔らかいフラダンス等の素晴らしい演目を披露していただきました。会場は大盛り上がりでした！職員も頑張りましたあ～



おかげ様で無事20周年を迎えることができました。これも一重にご利用者、ご家族、そして地域の皆様のおかげと心から感謝と御礼を申し上げます。新しい年となりますが、気持ち新たによりいっそく地域に根ざした施設として参ります。

本年もどうぞ宜しく

お願い申し上げます(*^_^*)v





HIBARI
前 31

半年刊ヒバリ 第31号(前期号)

平成29年1月1日発行(年2回刊行)

製作・発行:富松記念会 広報部会

三池病院

TEL 0944-53-4852 FAX 0944-53-0117

〒837-0921

福岡県大牟田市三池855

ホームページ

<http://miikehp.com>

E-mail

miike-hp@axel.ocn.ne.jp

さつま汁



健 康レシピ



カロリー 一人前 約185kcal



調理時間 30分

□材料・作りやすい分量

□作り方

鶏もも肉	70g
だいこん	50g
にんじん	30g
ごぼう	30g
さつまいも	50g
こんにゃく	50g
水	500ml
料理酒	大さじ1
みそ	大さじ1と2/3
しょうが	4g

- 鶏肉は一口大に切り、大根と人参は1cm幅のいちょう切り、ごぼうはしっかりこすり洗いした後ささがきにして水にさらす。こんにゃくは短冊切りにし、さつま芋はしっかり洗って皮付きのまま1cm幅の半月切りにする。
- 鍋に水・料理酒・鶏肉・さつま芋以外の具材を入れて強火にかける。
- 煮立ったらあくを取り、さつま芋を加えて中火で10分煮る。
- 煮汁を1カップ分取ってみそを溶いて鍋に戻して一煮立ちさせる。
- 器に盛り、おろし生姜をのせる。お好みでネギを散らす。

【栄養メモ】

鹿児島の郷土料理であるさつま汁は根菜がたっぷり入っており、食物繊維やビタミンなどがたっぷりと摂れる栄養豊富なメニューです。エネルギー代謝を助けるビタミンB2を含む鶏肉と血行をよくする生姜をあわせて摂ることで効率よくエネルギーを得ることができます。

MAP



ひばりのさえずり



今季のサエズリスト

三池病院 栄養課 管理栄養士 服部 知恵

新年明けましてあめでとうございます。

昨年、京都へ奮発旅行をしてきた服部です。今回の旅行のメインは京料理！湯葉や豆腐、京野菜を使ったお料理はとても美味しいかったです。お店の雰囲気に押されて緊張していました、「楽しんで食べてくださいね」と笑われてしまいました。しばらくは節約の日々が続きそうですが、またチラッズを目指して今年も頑張ります。

次は坊主頭が似合うデイケアの吉原さんにバトンタッチです。

